

# 「地域密着型社会福祉貢献」

阪神・淡路大震災という未曾有の惨事を経験しながらも、県民と手を携えて復興を成し遂げた兵庫県遊技業協同組合(以下兵遊協)。その過程で「社会との共生」を痛感するとともに、社会からの大きな期待を実感したという兵遊協が取り組んだのは、“実効性”を重視した地域密着型の社会福祉貢献活動であった。

● 兵庫県遊技業協同組合  
----- 組合員数 348人



米田 義一 理事長

昨年に続いての連続受賞を、組合員一同、感慨深く受け止めています。この受賞を励みとして、私たちが組合の運営基本に据えている「社会貢献活動を通じた地域社会との共生」をさらに推進し、組合員が一丸となってより良い社会作りを目指して努力していく所存です。



「ばちんこ110番協力店制度」街頭キャンペーンの様子

## 地域貢献賞

### 選考理由



社会貢献活動審査委員会 委員  
松尾 守人 氏

平成18年(2006年)、従来の社会貢献事業に加えて立ち上がった「ばちんこ110番協力店制度」は、児童の保護活動や警察への通報等の成果を上げています。これは、“ホールを地域社会に活用してもらう”“従業員が自ら実行して汗をかく”ことを重視した取り組みの結果です。今後、新企画事業がさらに効果を上げ、多岐にわたるほかの事業とともに継続されていくことを期待します。

#### 真に地域社会が求める 実行性のある活動を展開

昨年度、「はあ〜とふるふあんど事業(兵遊協・ハート玉福祉支援事業)」により、「文化活動支援賞」を受賞した兵遊協。本年度は、地域と連携した安全・安心な街作りへの寄与、地域コミュニティの育成・連携支援、そして青少年の健全育成及び社会的弱者の支援、という3つの柱からなる総合的な社会貢献活動が高く評価され、2年連続の受賞となった。

支援金を贈呈するのみにとどまりがちだった従来の活動からの転換を図り、“ホールの従業員たちが自ら実行して汗をかく”ことを重視した兵遊協の取り組みは、地域社会との距離が近く、ニーズを掴みやすいホールの特性を生かし、行政の手が届きづらい部分を積極的にカバーするものとなっている。

#### 安全・安心な街作りを 推進するために

兵遊協の社会貢献活動の地域密着性を端的に象徴するのが、平成18年(2006年)8月に発足した「ばちんこ110番協力店制度」である。これは、兵庫県下の全ホールが参加して犯罪被害者や児童の保護、警察・消防への通報等、有事の際の連絡・避難場所としてホールを地域住民に活用してもらう、という画期的な施策。

ホールへは兵遊協から同制度の告知用のぼり旗・ステッカー・ティッシュを配布するとともに、県民に積極的な呼びかけを実施。同年には計12件の保護活動を行い、うち7件は警察への通報を行っている。

このほかにも、兵遊協では安全・安心な街作り推進のため、犯罪・事故防止の街頭キャンペーンや、地域の駐車場における防

犯対策や巡回活動の強化等の施策を積極的に展開しており、県民からも高い評価を得ている。



伊丹市で行った「いたみ安全・安心街づくり」キャンペーン

### 地域コミュニティの活性化を後押し

平成13年(2001年)より継続的に実施している「はあ〜とふるふあんど事業」においては、地域コミュニティやボランティア活動団体が長期的な経済不況等の影響で民間企業の援助を受けづらい状況下であることに鑑み、その支援を強化。

平成18年度には、ボランティア活動支援として32団体に総額1,000万円を、また地域振興支援として24団体に総額1,000万円をそれぞれ贈呈し、地域コミュニティの活性化を強力に支援している。



地域振興団体への支援金贈呈

### 青少年の育成と社会的弱者への支援

昭和57年(1982年)に全組合員の賛同を得てスタートした「兵遊協福祉基金」は、年間2,500万円を青少年健全育成団体をはじめ、身体障害者施設や母子施設、乳児院施設などの社会福祉施設へ贈呈している。特に「兵庫県青少年柔剣道大会」では、その開催費を全額支援している。

また、平成6年(1994年)には兵庫県の認可を得て「社会福祉法人 兵遊協社会福祉事業協会」を設立。平成14年(2002年)に兵遊協が「要介護者外出支援事業」を開始したことに伴い、車いすに座ったままで乗車できる福祉車両の贈呈を行っている。



贈呈した福祉車両  
「兵庫県はあ〜とふる福祉号」

### 兵庫県遊技業協同組合の主な社会貢献活動



#### 地域と連携・連動した安心・安全街作りの推進と支援

- ホールを有事の際の連絡・避難先として活用する「ばちんこ110番協力店制度」の実施
- 地域の犯罪や事故防止を呼びかける街頭活動「安全・安心キャンペーン」の実施
- ホール駐車場における防犯及び子どもの事故防止のための巡回強化
- ホール駐車場とその周辺地域における防犯及び子どもの事故防止のための防犯カメラ設置
- 犯罪・事故被害者支援のNPO法人「ひょうご被害者支援センター」への支援金贈呈

#### 地域コミュニティの育成と連携の支援事業

- 「はあ〜とふるふあんど」を通じた社会貢献団体への支援金贈呈

#### 青少年の健全育成及び社会的弱者の支援事業

- 兵遊協福祉基金を通じた兵庫県青少年本部の非行防止活動支援
- 兵遊協福祉基金による「兵庫県少年柔剣道大会」開催費支援
- 兵遊協並びに兵遊協社会福祉事業協会による県下全市町への福祉車両贈呈

### 社会貢献活動の現場より 「街頭キャンペーンへの反響の大きさに活動意義を実感」

兵庫県遊技業協同組合  
防犯広報委員長(明石遊技業組合 組合長)  
**富山 喜一 氏**



平成18年(2006年)、県下の全ホールが一斉に実施した「ばちんこ110番協力店制度」は、兵遊協の組合運営方針である「防犯活動を通じた地域社会との共生の増進」を実践するための画期的な施策でした。同年8月には県民の皆様がこの活動を知ってもらうために繁華街でキャンペーンを行ったのですが、テレビ中継や新聞掲載等、メディアを通じた反響が大きく、嬉しかったですね。

兵庫県遊技業協同組合  
福祉委員会副委員長(伊丹遊技業組合 組合長)  
**劉 聖勇 氏**



伊丹市内は、少年非行の増加や自転車の盗難、空き巣ねらい等の窃盗が増加していることが組合で話題になり、その防止に貢献するため、吉本興業の人気タレントを招いて「いたみ安全・安心街づくり」キャンペーンを行いました。当日は所轄警察署や防犯協会の協力を得て、タレントを先頭にして各ホールのスタッフと駅前や繁華街をパレードしたのですが、多くの市民が沿道を埋めることになり、皆でやりがいを実感しました。